

# 脱原発する保守政党

東京比例「**改革**」と党名で  
投票して下さい。

有能な人材・豊かな才能!



51歳 会社役員 成城大学卒  
産業能率大学大学院卒(経営修士)  
**藤野 靖**



30歳 会社役員 俳優 大正大学卒  
**新尉 ジン**



53歳 非常勤大学講師 フリーランス  
通訳 翻訳 ニュースウエールズ大卒  
(国際政治学博士)  
**後藤まさよ**



34歳 会社役員 慶應大学卒  
北京大学大学院卒(経営学博士)  
**中川 圭司**

## 豊かな社会へ



www.shintokaikaku.jp

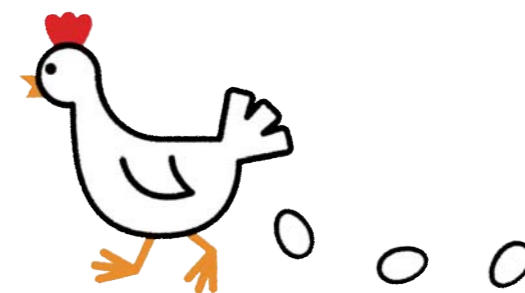
事務所  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町1-5-5 大野ビル2F  
TEL 03-6268-9550

頒布責任者 / 氏家裕人 東京都千代田区平河町1-5-5  
印刷者 / 株式会社三興社 東京都新宿区下宮比町3-2  
新党改革衆議院比例東京都ブロック届出ヒラ第一号



代表 **あらい 広幸**

# アベノミクスの補強 「家庭ノミクス」を実行 それが新党改革です。



日本経済が弱くなれば、税収は減り、財政再建も厳しくなります。  
消費増税を延期したのはニワトリが弱ってしまっは、良い卵を産めないからです。  
だから、安倍晋三総理の国民に問う解散判断を支持します。  
アベノミクスの成長戦略を補強・強化する具体策「家庭ノミクス」をご支持ください。  
アベノミクスが成功するカギは、家庭を起点としたアイデア、家庭への投資など  
成長戦略を追加する必要があります。その例を示します。  
そして、原発政策の転換を強く求めます。

### 家庭ノミクスの例 ①

「超・原発社会」とは、単に電源を「原子力」から別のものに切り替えることを意味するものではありません。「原子力発電」に依存してきた社会が抱える様々な矛盾、格差、分断などを乗り越えた助け合う社会を創造する意味と強い意志を含めたものです。ここに真に「豊かな社会」が生まれます。  
例えば水素電池の「エネファーム」等の家庭用燃料電池は日本だけが実用化しています。ガスなどの給湯器をエネファームに置き換えることで、各家庭で電力を作ることが出来ます。これで家庭の光熱費負担を軽減できます。この電力を自分で使った分の残りを地域で融通し合う仕掛けを提案します。これも「家庭ノミクス」のひとつの例です。  
プロシューマ型社会が実現するまで、移行期には高効率の火力発電(IGCC等)を地域のベースロード電源として活用します。133万世帯に家庭用燃料電池を設置すれば、原発一基分の出力を確保出来るので、再生可能エネルギー、高効率火力発電と組み合わせることにより原発は不要となります。再稼働の必要性もありません。

## アベノミクス成功が超・原発社会の実現! (脱原発)